

製品名: SNAP23 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87609**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:200
分子量	Calculated MW:23 kDa; Observed MW:23 kDa

抗原情報

遺伝子名	SNAP23
別名	SNAP-23; SNAP23A; SNAP23B; HsT17016
遺伝子 ID	8773
SwissProt ID	O00161
免疫原	ヒト SNAP23 の合成ペプチド

背景

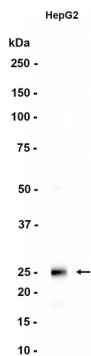
小胞輸送の特異性は、シナプトブレビン/VAMP と呼ばれる小胞関連膜タンパク質とシンタキシンと呼ばれる標的区画膜タンパク質と

の相互作用によって部分的に制御されています。これらのタンパク質は、SNAP25 (25 kDaのシナプトソーム関連タンパク質) とともに複合体を形成し、これが膜融合機構全体の結合部位として機能します。シナプトプレピン/VAMPとシンタキシンは、すべてではないにしてもほとんどの細胞で小胞輸送に関与していると考えられていますが、SNAP25はほぼ脳にのみ存在するため、他の組織で輸送小胞/標的膜の融合を促進するために、普遍的に発現するSNAP25の相同遺伝子が存在することが示唆されています。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、構造的にも機能的にもSNAP25に類似しており、複数のシンタキシンおよびシナプトプレピン/VAMPに強く結合します。これは、一般的な膜融合機構の高親和性受容体の必須構成要素であり、輸送小胞のドッキングと融合の重要な調節因子である。この遺伝子には、異なるタンパク質アイソフォームをコードする2つの代替転写バリエーションが報告されている。[RefSeq提供、2008年7月]

研究分野

-

画像データ



SNAP23 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HepG2 細胞抽出物のウエスタンブロット分析。